

子どもの権利条約総合研究所の活動日誌（2025年1月～2025年12月）

●定期総会

2025年5月24日（土）、早稲田大学戸山キャンパス33号館第10会議室において、2025年度定期総会が開催され、2024年度事業報告、会計報告、2025年度事業計画案、会計予算案、運営スタッフ案が承認された。

●シンポジウム・研究報告・課題研究発表会

・公開シンポジウム 2025年5月24日（土）

13:00～17:00

早稲田大学戸山キャンパス

36号館581教室

テーマ「学校は子どもの権利学習をどう進めるか—人権教育の課題と展望」

1. 基調報告

「国連『人権教育のための世界プログラム』の最前線—5段階で求められていること」

平野 裕二（子どもの人権連）

2. 子どもによる子どもの権利学習

○報告「子どもがつくる子どもの権利学習

—Leaf college Projectの取り組みから」

運営メンバーの子どもたち

○報告「『なんでやねん！すごろく』を通じた権利のまなび

子どもの権利条約関西ネットワークの子どもたち

3. 学校現場と人権・権利学習のこれから

○報告「学校現場から子どもの権利の学びを考える」

伊藤 義明（北海道音更町立駒場小学校教諭）

○報告「弁護士が進めるいじめ防止授業づくり」

平尾 潔（弁護士）

○報告「自治体が行う学校での権利授業報告

—西東京市の事例」

谷川 由起子（杉並区子どもの権利救済委員）

コーディネーター

浜田 進士（CRC研究所関西事務所）

甲斐田 万智子（国際子ども権利センター）

・研究報告

司会 半田 勝久（日本体育大学）

高石 啓人（日本大学）

報告①「意味ある子どもの参加を生み出すエンパ

ワメントの力—高校生の私がアクティビストを名乗るまで」

高木 萌伽（郁文館学園ID学園高等学校）

報告②「子どもの意見聴取に関する行政案件に委託業者として関わること」

大野 さゆり（一般社団法人TOKYO PLAY）

報告③「学校における子どもの自治権と教師のジレンマ—1950年代、宮坂哲文の生活指導論から—」

相庭 貴行（筑波大学大学院）

・課題研究発表会

2025年5月25日（日）14:00～17:00

「子ども参加と条例の研究」

進行 林 大介（東洋大学）

高石 啓人（日本大学）

○「子ども参加条例と子どもの意見表明・参加権保障の現代的課題—子ども参加条例の可能性を探る」

喜多 明人（早稲田大学名誉教授）

○「世田谷区「一部改正」子ども条例（仮称：子どもの権利条例）の制定と課題—中学生・高校生で構成する子ども条例プロジェクトの活動をふまえて」

佐藤 亮（世田谷区子ども・若者部 子ども・若者支援課）

○「子ども参加条例をめぐる動き・事例紹介」

・日本の子ども参加条例をめぐる動き—川西市の事例から

浜田 進士（川西市子どもの権利オンブズマン）

・韓国の子ども参加条例の動き—ソウル特別区ノウォン区の事例から

安 ウンギョン（平成国際大学）

●研究会

・2025年9月13日（土）13:30～16:00

於：東洋大学赤羽キャンパス WELLBHUB-2・20208教室

テーマ「子どもの意見表明権をめぐる国際動向」

・2025年9月21日（日）10:00～17:00

於：HRCビル5階ホール

テーマ「子どもの権利基盤型条例/救済制度を考える」関西シンポジウム

・2026年12月21日（日）14:00～17:00
於：東洋大学赤羽キャンパス WELLBHUB-2・
20208 教室

テーマ「学校外の多様な学びと子どもの意見表明・
参加権の保障を展望—子ども支援者の役割・
課題を考える—」

●「地方自治と子ども施策」全国自治体シンポジウム
2024 名古屋

2025年2月22日（土）～23日（日）、「子どもの
最善の利益原則に基づく子ども施策の創出—子ども
の権利を実現する文化及び社会の構築を目指して」
をテーマに、名古屋市鯉城ホール会場にして開催さ
れた。

研究所は、このシンポジウムの成功に向け全面的
支援をおこなった。

●「子どもの権利研究」の刊行

本研究所編集・刊行で『子どもの権利研究』第36
号（2025年3月）を電子ジャーナルとして刊行した。

●特別研究員の推薦

研究員より推薦のあった以下4名を2025年度特
別研究員として承認した。

相庭貴行（筑波大学大学院）、勝部雅史（東洋大
学人間科学研究所）、佐藤信一（東京シユール）、羅
妍智（東洋大学大学院）